

令和6年度使用 小学校教科用図書調査研究結果

国語

令和5年8月23日（水）

伊予市教科用図書調査委員会

【調査・研究資料】教科名（国語） No. 1

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
2 東京書籍	新しい国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている教科及び学年の内容に照らし、各領域、事項で適切な内容が選択されているが、高学年では挿絵が少なく文章量が多い。 ○ 入門期では特に、書写との関連が図れるようになっている。 ○ 各教科での言語活動と関連して指導ができるような内容・教材を取り入れている。 ○ 情報を精査し、発信する力を身に付けられるように多様な教材が系統的に選択されている。 ○ 我が国の伝統的な言語文化に親しむ内容が充実しており、2年下には郷土かるたの例として伊予万歳や道後を紹介した愛媛のかるたが掲載されている。 ○ 表記・表現は適切である。 ○ ウェブサイトと連動した「QRコンテンツ」により、「読むこと」の資料動画やタイピング練習等を閲覧できるようになっている。 ○ 印刷・製本は適切である。 △ 高学年は1年間の学習が見通せるように1冊となっているが、教科書が重く、児童が扱う上で負担となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文、手引き、注、挿絵などの関連は適切である。 ○ 目標に対応して、指導内容をらせん的・系統的・反復的に繰り返し指導できるように、全学年が同時期に同じ内容の単元系統・系列の学習内容が配列されている。 △ 2年生以上の各教科書の冒頭には「言葉の力を集めよう」があり、一年間で学習する「言葉の力」をロードマップに示しているが、色彩が均一で羅列されているので、分かりにくい表現になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体的で多様な言語活動を設定し、児童の日常生活に必要な基本的な知識や技能が身に付くように配慮されている。 ○ 入門期では、日常会話や挨拶を取り入れ、「話すこと・聞くこと」の学習指導ができるよう配慮されている。 ○ 「見通す」「取り組む」「ふり返る」の三つのステップを通して学習する設定が貫かれている。 ○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、日常生活や学校生活に関連した多様な場を設定し、「学習の流れ」で学習を見通し、児童が主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 △ 学習の手引きの説明の分量がやや多く、児童が読み取りにくい。 △ 「読むこと」では、読むための単元の導入ページや手引きが掲載されているが、説明の分量が多く、児童にとっては読み取りにくい。 ○ 巻末に「言葉の広場」を設け、発達段階に応じて様子や説明に関する言葉が数多く掲載されており、語彙力や表現力を高めるのに役立つ。 ○ 巻末の漢字の手引きでは、音・訓すべての読み方で調べることができる。 ○ 話題・題材や言語活動など、多様な観点から、他教科の学習で活用できるように配慮している。 ○ ユニバーサルデザインに配慮し、活字は読みやすい独自の教科書体を用いている。 	<p>学習指導要領に示されている教科及び学年の内容に照らし、適切な内容が選択されており、各教科での言語活動と関連して指導ができるような内容・教材を取り入れている。</p> <p>日常生活や学校生活に関連した多様な場を設定し、児童が主体的に取り組み、基本的な知識や技能が身に付くように配慮されている。</p> <p>学習の手引き等の説明の分量がやや多く、児童にとっては読み取りにくい。</p>

【調査・研究資料】教科名（国語） No. 2

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
17 教育出版	ひろがる言葉 小学国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている教科及び学年の内容に照らし、各領域、事項で適切な内容が選択されている。 ○ 入門期では特に、書写や生活科などの他教科と連携した合科的な指導が可能である。 ○ 各教科での言語活動と関連して指導ができるような内容・教材を取り入れている。 ○ 我が国の伝統的な言語文化に親しむ教材が掲載されている。高学年では、言葉の変化や由来についての教材を配している。 ○ 高学年では、思考に関わる語句や文型を教材中の「大事な言い方」にまとめている。 ○ 表記・表現は適切である。 ○ 書体は読みやすく、力強い教科書体であり、巻末の漢字一覧は、書写教科書の筆者の字を使用し、関連を図っている。また、カラーユニバーサルデザインにも配慮し、どの児童にとっても見やすく配慮されている。 ○ ウェブサイトと連動した「まなびリンク」により学習時に参照できる資料等をウェブサイトで閲覧できる。 ○ 印刷・製本は適切である。 ○ どの学年も上下分冊であり、児童の扱いや持ち帰りの負担軽減になる。教科書に出会う喜びが年に二回あり、付録ページも充実している。 ○ 愛媛県の偉人である「正岡子規」（6年下付録）を4ページに渡って取り上げており、郷土愛を育むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文、手引き、注、挿絵などの関連は適切である。児童の学習意欲を高め、文章の理解を助ける資料性の高いものなど、学習上必要なものを取り上げている。 ○ 目標に対応して、指導内容をらせん的・系統的・反復的に繰り返し指導できるように、全学年が同時期に同じ内容の単元系統・系列の学習内容が配列されている。 ○ 各教科書冒頭には、「○年生で学ぶこと」が設けられ、1年間の学習を見通せるようになっている。また、領域のテーマカラーを用いることで、児童は「何を学ぶのか」を視覚的にも捉えることができる。（1年上はなし） ○ 児童が必要な情報を取り出したり、整理したりできるよう、体系的なまとめのページを設けている。 ○ 中学校で学習する古典作品や近代の著名な作品を取り扱うことにより、先人たちのものの見方を示し、中学校での古典学習への円滑な接続を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体的で多様な言語活動を設定し、児童の日常生活に必要な基本的な知識や技能が身に付くように配慮されている。 ○ 入門期では、日常会話や挨拶を取り入れ、「話すこと・聞くこと」の学習指導ができるよう配慮されている。また、児童の「気付き」を大切に、言葉を引き出し、主体的・対話的に楽しく言葉の学びを始められるよう、通学路のイラストを採用している。 ○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、日常生活や学校生活に関連した多様な場を設定し、「学習の流れ」で学習を見通し、児童が主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 「読むこと」では、読むための手引きが具体的に大きく見開きページで掲載されている。学び方が見え、児童が見通しをもって学習することができる。また、児童が主体的に学ぶことができるよう、「確かめる」「考える」「広げる」「深める」の4段階の学習が示してある。さらに、対話的な学びを意識した対話のモデルが示されている。 ○ 巻末に「言葉の木」や言葉や情報のまとめ等があり、発達段階に応じて語彙力や表現力を高めるのに役立つ。 ○ 話題・題材や言語活動など、多様な観点から、他教科の学習で活用できるように配慮している。 	<p>学習指導要領に示されている教科及び学年の内容に照らし、適切な内容が選択されており、情報の取り扱い方に関する知識や技能を身に付けられるように多様な教材が系統的に取り入れられている。</p> <p>「学習の進め方」や読むための「手引き」等が工夫されており、学習を見通し、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。</p> <p>対話的な学習を意識した対話のモデルも示されていて、児童が意欲的、主体的に深く学ぶことができ、表現力等も高めることができる。</p> <p><u>以上のことから、採択するのに最も適している教科書であると考える。</u></p>

【調査・研究資料】教科名（国語） No. 3

発行者名	教科書名	A 内容の選択・程度・その他	B 構成・配列	C 学習指導への配慮	総合所見
38 光村図書出版	小学校 国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている教科及び学年の内容に照らし、各領域、事項で適切な内容が選択されている。 ○ 入門期では特に、書写や生活科などの他教科と連携した合科的な指導が可能である。 ○ 各教科での言語活動と関連して指導ができるような内容・教材を取り入れている。 ○ 情報の取り扱い方に関する知識や技能を身に付けられるように、教材が系統的に選択されている。 ○ 我が国の伝統的な言語文化に親しむ内容が学年に応じて充実している。 ○ 表記・表現は適切である。 ○ ウェブサイトと連動した「QRコード」により、参考資料や動画を閲覧できるようになっている。 ○ 印刷・製本は適切である。 ○ 色彩や文字においてもユニバーサルデザインを採用している。 △ 高学年は1年間の学びを振り返るよう1冊になっているが、児童が扱う上で負担になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文、手引き、注、挿絵などの関連は適切である。 ○ 目標に対応して、指導内容をらせん的・系統的・反復的に繰り返し指導できるように、全学年が同時期に同じ内容の単元系統・系列の学習内容が配列されている。 ○ 2年生以上の教材では、SDGsに関連するテーマを取り入れている。 ○ 2年生以上の各教科書冒頭には、上下別の「国語の学びを見わたそう」があり、学びの流れが一目で分かるようになっている。 △ しかし、説明の分量も多く、一部の児童にとっては読みにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体的で多様な言語活動を設定し、児童の日常生活に必要な基本的な知識や技能が身に付くように配慮されている。 ○ 入門期では、日常会話や挨拶を取り入れ、「話すこと・聞くこと」の学習指導ができるよう配慮されている。 ○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、日常生活や学校生活に関連した多様な場を設定し、「学習の進め方」で学習を見通し、児童が主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 △ 「読むこと」では、読むための手引きが見開きページで掲載されているが、説明が多く、対話に対するモデルが少ないため、一部の児童にとっては読み取りにくい。 ○ 巻末に「言葉の宝箱」を設け、発達段階に応じた人物や物、気持ちを表す言葉を多く掲載し、語彙力や表現力を高めるのに役立つ。 ○ 2年生以上の巻末に「図を使って考えよう」を新設し、情報を整理する方法や情報を伝えるための言葉を確認するのに役立つ。 ○ 話題・題材や言語活動など、多様な観点から、他教科の学習で活用できるように配慮している。 ○ ユニバーサルデザインに配慮し、活字は読みやすい教科書体を用いている。 	<p>学習指導要領に示されている教科及び学年の内容に照らし、適切な内容が選択されており、各教科での言語活動と関連して指導ができるような内容や教材を取り入れている。具体的で多様な言語活動を設定し、児童の日常生活に必要な基本的な知識や技能が身に付くように配慮されている。</p> <p>「学習の進め方」で学習を見通し、児童が主体的に学習に取り組むことができるような配慮されている。</p> <p>「読むこと」の学習の手引きや、学びの流れを示した冒頭は、児童が主体的に取り組むために有効であるが、説明の分量が多く、対話に対するモデルも少ない。</p> <p><u>以上のことから、採択するのに適している教科書であると考える。</u></p>